

		測定する能力			
漢字・語彙力	漢字や語彙を使いこなす力。漢字を使って論理的な文章を組み立てる力。	論理的言語力	日本語を論理的に扱う能力。一文の構造を論理的につかまえる力。「ことばのつながり」指示語・接続語などを論理的に扱う力。	論理的読解力	文章構造を論理的に解説する力。文と文との論理的関係、段落と段落との論理的関係。文章全体の論理構造を把握する力。趣旨を的確に把握し、小説などを客観的に読む力。
		論理的思考力	文章の要点を論理的に整理し、まとめる力。論理的に説明する力。おもに記述力、論述力。	論理的表現力	他者に向かって、論理的に話す力。論理的に思考し、自分の考えを論理的に書く力。

《問題Ⅰ》 漢字・語彙力 (60点)

●解答

- 第一問
 (1) イ・ク (2) エ・カ (3) ア・ケ

- 第二問
 (1) 格調 (2) 徒勞 (3) 説得

- 第三問
 (1) 鉱物 (2) 構成
 (3) 制止 (4) 再興

- 第四問
 (1) 清潔 (2) 迷信 (3) 主演

- 第五問
 (1) 田舎で質素な生活をゆったり送る。
 (2) 兄は炭酸のジュースをごくごく飲んだ。

■配点

- 第一問 各6点(言葉・意味 各3点)
 第二問 各3点 第三問 各3点
 第四問 各3点
 第五問 各6点(並べかえ・漢字 各3点)

◆解説

第一問 小学生レベルの慣用句とその意味について確認します。

第二問 意味から二字熟語を作成します。単漢字の意味を考え、どの漢字との組み合わせがいいかも考えましょう。

第三問 同音異義語の問題です。文脈から意味を考え、適切な熟語を選びましょう。

- (1) 「鉱物」は地中に天然にできるいろいろな成分のかたまりを意味します。
 (2) 「校正」は原稿を仮に印刷したものに
 ついて、文字などのまちがいを直すこと。

◆解説

第一問
 ア 「台風が」↓「通り過ぎるらしい」が、主語と述語の関係。
 イ 「描いた」が述語で、主語は省略されています。
 ウ 「道路が」↓「なった」が、主語と述語の関係。
 エ 「実が」↓「なった」が、主語と述語の関係。
 オ 「とった」が述語で、主語は省略されています。
 カ 「大木が」↓「打たれた」が、主語と述語の関係。

第二問

「クリスマスに」↓「出た」、「コートに」↓「着て」↓「出た」、「街へ」↓「出た」とつながります。

第三問

接続語の問題は、文と文、語句との関係を考えます。

- (1) 空所直前で「井戸の水は、夏には冷たくなり、冬には温かくなる」とあるのに、空所直後では「井戸の水は冷たくも温かくもなっていない」と反対のことを言っている。逆接の「しかし」。
 (2) 空所直前の具体例を空所直後でまとめているので、換言の「つまり」。

《問題Ⅱ》 論理的言語力 (20点)

●解答

- 第一問 (1) ア (2) エ
 第二問 ウ
 第三問 (1) ア (2) エ

第一問 各4点 第二問 4点
 第三問 各4点

- 第一問 各4点 第二問 4点
 第三問 各4点

◆配点

- 第一問 各4点 第二問 4点
 第三問 各4点

- 第一問 各4点 第二問 4点
 第三問 各4点

《問題Ⅲ》 論理的読解力 (40点)

●解答

- 第一問 (1) オ (2) ア (3) エ
 (4) ウ (5) イ
 第二問
 炎の内側が熱いか、炎をはなれた少し上のところが熱いか(という議論)。
 第三問
 小柄な紳士が指を炎の中につきさしたから。
 第四問
 ア × イ × ウ ×
 エ ○ オ ○

■配点

- 第一問 各2点 第二問 10点
- 第三問 10点 第四問 各2点

◆解説

第一問

(1) 直後の「やっぱり炎を少しはなれたところの方が、かえって熱いですよ」という意見と反対の意見が入るはずなので、才。

(2) セリフの直後に「他の紳士が反対しました」とあります。人の意見に反対するセリフが入るはずなので、ア。

(3) 人々がぼつたりと議論をやめたのは「みなさん」と呼びかけられたからなので、工。

(4) 炎の中か、炎を少しはなれた上のところが熱いか、実際に指で触って確かめた直後のセリフなので、ウ。

(5) 空所直後に「青年紳士は医師だったからです」とあります。医師である青年紳士が客を患者と思つてたずねたセリフなので、イ。

第二問

直前に「(ろうそくの) 炎の内部が熱いか、あるいは炎をはなれた少し上のところが熱いかを論じあっているのでありました」とあるので、これをもとに説明します。

第三問

傍線部の前に「人々は、ぼつたり議論をやめて、一斉にその紳士を見つめました」とあります。この直後から傍線部までの間に紳士が予想外の行動をとったから、それを見た人々があつげにとられたのです。

第四問

本文の該当箇所と照らし合わせて、正しかどうかを判断します。

ア 集まったのは英国内部のバスという市やその付近で名をあげた人ばかりなので、「英国の外から来た紳士たち」が間違い。
イ 議論が始まったのは、食事の後なので、×。
ウ 小柄な紳士が炎に指をつきさしてから引くまでは、二秒ほどだったので、×。

エ・オ 本文に書いてあるから、○。

《問題Ⅳ》

論理的思考力

(40点)

●解答

- 第一問 (1) ヤギ (2) せんい (3) 溶かす

第二問 昔の

第三問

夏休みが終わる前に北海道へ旅行に行きたい。

第四問

学校の図書室にぶあつくて重い植物図かんを返しに行く。

第五問

時計が夜の七時を知らせたが、七時からテレビ番組が始まっていなかったため、時計が少し進んでいたことに気づいた。

■配点

- 第一問 各4点 第二問 6点
- 第三問 6点 第四問 8点
- 第五問 8点

◆解説

第一問

「どうしてヤギは紙を食べてしまうのでしょうか」という疑問に対する答えが要点となります。「紙を食べてしまう」の主語はヤギなので、(1)は「ヤギ」です。「ヤギは胃の中の微生物の力で、このせんいを溶かすことができます」「紙はせんいをかためたもの」とあるので、(2)には「せんい」(3)には「溶かす」が入ります。

第二問

言葉のつながりを考えます。「昔の」とると、「うさぎが」↓「住むという」「月に」↓「住むという」「住むという」↓「言い伝えが」↓「ある」とつながります。

第三問

「海が」↓「終わる」、「海が」↓「行きたい」といったふうに述語につながるべきなので、「海が」が使わない言葉とわかります。

第四問

植物図かんが共通の言葉なので、「植物図かんはぶあつくて重い」という文を植物図かんを説明する形に書きかえます。

第五問

逆接の「しかし」を逆接の接続助詞に、順接の「だから」を理由を表す接続助詞に変えます。

《問題Ⅴ》

論理的表現力

(40点)

●解答例

第一問

- 人手不足により、深夜の営業による店員への負担が大きいから。
- 深夜の営業による音や光が周りに住む人たちの迷惑になるから。

第二問

- 深夜のコンビニが困った人の避難場所になることがあるから。
- 災害が起きたとき頼る場所として、いつも人がいないと困るから。

■配点

- 第一問 各10点 第二問 各10点

◆解説

第一問 第二問 「コンビニは深夜に営業するべきではない」と主張しているのは、かずまとまさです。第一問は二人の意見をもとに理由を説明する文を作ります。

また、「コンビニは深夜でも営業するべきである」と主張しているのは、みなことさやです。第二問は二人の意見をもとに理由を説明する文を作ります。ただしそれぞれ会話文なので、各人の意見を答案にふさわしい形に書き直さなくてはなりません。